

K101

**全体最適によるジャスト・イン・タイム生産を体感を通して学ぶ！
製造業における納期短縮や在庫削減の進め方**

基本知識の
習得



開催日 平成29年 **9月12日(火)～9月13日(水)**
時間 **9:30～16:15** (休憩45分)
研修期間 **2日間**
研修時間 **12時間**
受講料 **12,960円(税込) / 1名様**

業種		受講階層	
製造・建設・運輸	●	若手社員	●
卸・小売	●	中堅社員	●
情報通信		管理・監督者	●
サービス		経営者・経営幹部	

研修のねらい

「一品一様」「多品種少量」が当たり前になっている現在では、ものづくりもまとめ生産から変動に極力対応したJIT（ジャストインタイム）への転換が企業の競争優位を左右すると言っても過言ではありません。本講座では、最初にJITの目的や実現するための考え方を理解します。また、JIT実現のための道具である「かんばん」と、後工程引き取り・後補充方式についての基本を学び、すぐにでも職場で使える事例の解説や演習を行います。

2日目には、計画に基づいて大量に資材や部品を仕入れて、まとめて造って一度に運ぶという方式から、現物の動きをよく見ながら情報と物の量を管理するJIT生産方式を体験します。演習では「原価」「収益」「顧客満足度」の結果指標からJIT生産方式の優位性を体感します。

内容・カリキュラム

1日目

- JIT（ジャストインタイム）とは**
 - 一般生産方式とJIT生産方式の違い
 - JITの基本原則
 - ジャストインタイムのレベルを決めるリードタイム
- かんばんの実際**
 - 後工程引き取り・後補充方式とは
 - かんばんの基本
 - 役割
 - 道具の種類
 - 見える化から始めるストア作り
 - ムダの考え方（正味作業とは）
 - 変動対応力をつくる平準化
 - 総量規制をかける（事例演習）
- 事務用品や副資材等を管理する仕組みを考える**（コピー用紙 ボールペンの補充芯など）
 - アイデア発表
- 流れ作業のトータル時間（リードタイム）を管理する**
 - ドラムバッファロープ生産とは
 - グループ演習

内容・カリキュラム

2日目

- 一般生産方式とJIT生産方式の比較模擬体験**
 - 演習の概要
 - 第1R：計画生産－ロット生産・ロット運搬
 - 第2R：計画生産－1個生産・ロット運搬
 - 第3R：後補充生産－ロット運搬
 - 第4R：後補充生産－1個運搬（かんばんの使用）
- (ディスカッション)**
- 各グループ発表
 - グループディスカッション
「我が社の現状を考える」

